



Cisco DPA の統合

Cisco DPA 7630 および 7610 ボイスメール ゲートウェイ (DPA 7630/7610) は、Cisco Unified CallManager システムを Octel ボイスメール システムと統合する製品です。さらに、このボイスメール システムを Definity または Meridian 1 PBX システムに接続することも可能です。この統合により、既存のサードパーティ製テレフォニー システムを Cisco IP テレフォニー システムと併用することができます。

この統合により、たとえば、Octel ボイスメール用のメッセージ受信のインジケータ (MWI) などの機能を Cisco Unified IP Phone (Cisco Unified CallManager に接続) や従来型のテレフォニー電話 (Definity または Meridian 1 PBX Lucent PBX システムに接続) 上で確実に設定できます。

DPA 7630/7610 は、次のシステムと組み合わせて使用できます。

- Cisco CallManager 3.1(1) 以降
- Octel 200 および 300 ボイスメール システム (APIC/NPIC 統合を使用)
- Octel 250 および 350 ボイスメール システム (FLT-A/FLT-N 統合を使用)
- Definity G3 PBX システム (DPA 7630 のみ)
- Meridian 1 PBX システム (DPA 7610 のみ)

次の項では、DPA 7630/7610 の概要を示し、DPA 7630/7610 と従来型ネットワークと IP テレフォニー ネットワーク内で行われる他のコンポーネントとの対話について概説します。

- [DPA 7630/7610 の概要 \(P.32-2\)](#)
- [DPA 7630/7610 の機能 \(P.32-2\)](#)

DPA 7630/7610 の概要

DPA 7630/7610 は、Cisco Unified CallManager と Octel システム（PBX システムに接続可能）の間のゲートウェイとして動作します。DPA 7630/7610 の機能は次のとおりです。

- Cisco Unified CallManager からのコール タイプを判別し、ディスプレイ、ライト、およびリングの各メッセージを Octel システムに送信する。
- 転送やメッセージ受信のインジケータ（MWI）の設定などが Octel システム内で試行されていることを判別し、それに対応するメッセージを Cisco Unified CallManager に送信する。
- DTMF トーンを Skinny Client Control Protocol メッセージに変換する。
- Companding-law のトランスコーディングおよび音声圧縮を実行する。
- ボイスメールの Real-Time Transport Protocol（RTP）のカプセル化を実行する。

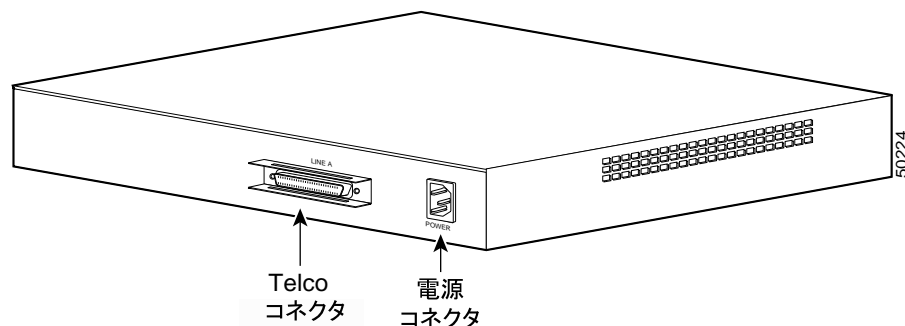
DPA 7630/7610 の機能

Cisco DPA 7630/7610 には、Cisco Unified CallManager と Definity PBX システムまたは Meridian 1 PBX のいずれかのシステムに、既存の Octel ボイスメールシステムを統合することができます。統合するシステムが Definity PBX の場合は DPA 7630 を使用し、Meridian 1 システムの場合は DPA 7610 を使用します。

また、DPA 7630/7610 には、デジタル電話や PBX システムをエミュレートする機能があります。このエミュレート機能により、DPA 7630/7610 は、Cisco Unified CallManager、Octel、Definity、および Meridian 1 システム上でデジタル電話や PBX システムとして扱うことが可能です。

図 32-1 に、Cisco DPA を示します。

図 32-1 Cisco DPA



DPA 7630/7610 が必要な場合を教えてください

Definity G3 PBX または Meridian 1 PBX から Cisco Unified CallManager にテレフォニーシステムを移行する場合には、Cisco Unified CallManager への完全なカットオーバーを行うのか、徐々に移行するのかを決定する必要があります。Cisco Unified CallManager や Cisco ボイスメールソリューションへの完全なカットオーバーを行う場合、DPA 7630/7610 は必要ありません。一方、システムを徐々に移行する場合は、Cisco Unified CallManager システムに新しい電話機をインストールする間、Definity または Meridian 1 PBX 上の一部の電話機を維持する必要があります。既存の Octel ボイスメールシステムを Cisco Unified CallManager システムと併用する場合があります。このような事情で徐々に移行する場合は、DPA 7630/7610 は Cisco Unified CallManager への移行時に必要になります。

SMDI だけを使用することはできますか

実際、移行の際に問題になるのは、Octel のようなボイスメール システムでは一度に 1 つの PBX だけが統合できるように設計されていることです。この問題の解決には、複数のクライアントへのボイスメール サービスを統合するよう設計されている Simplified Message Desk Interface (SMDI) が通常使用されます。

SMDI を使用するには、ボイスメール システムがいくつかの条件を満たしている必要があります。

- 十分なデータベース容量があり、2 つの PBX システムを同時にサポートし、各メールボックスを正しい PBX に関連付けて正しいリンクに MWI 情報を送信できること。
- PBX への既存の物理リンクを維持しながら、IP ネットワークをボイスメール システムに物理的に接続できること。
- アナログの統合をサポートしていること。SMDI は基本的にアナログ技術です。

また、SMDI を使用するには、既存テレフォニー ネットワークの再構成が必要です。

SMDI を使用できない場合はどうすればよいですか

SMDI を導入しても問題が解決しない場合があります。特に Octel システム上でデジタル インターフェイスを使用している場合はこれに該当します。デジタル回線カードを使用する Octel システムでは、デジタル電話をエミュレートし、PBX 上ではポート単位統合または PBX integration card (PIC; PBX 統合カード) と呼ばれるデジタル内線電話として扱われます。PIC システム上では、音声とデータ (MWI の設定用) のストリームは同じバスを使用します。MWI の設定と削除は、専用のポート上の機能アクセス コードによって行われます。専用のインターフェイスがこれらの PIC ポートによって使用されるので、標準インターフェイスを使用して PIC ポートを Cisco Unified CallManager に接続することはできません。

ただし、DPA 7630/7610 を使用すれば、これらのインターフェイスを変換して、Cisco Unified CallManager、Octel、および Definity または Meridian 1 システム間で通信することが可能になります。ネットワークのニーズに応じて、数種類の統合方式から選択できます。

参考情報

関連項目

- [SMDI ボイスメールの統合 \(P.30-1\)](#)

参考資料

- *Cisco DPA 7630/7610 Voice Mail Gateways Administration Guide*